

[公募企画セッション]

プラスチックに対するマスバランス方式の適用

講演番号：3-A1

セッション日時：2026年3月5日(木) 9:20～10:40

1. セッションの趣旨・概要

近年、原材料中に含まれるバイオマス・リサイクル由来の成分量をマスバランス方式により特定の製品に割り当てる新たな概念のプラスチックが登場し、世界的に急速に広がりつつある。本セッションでは、世界・日本におけるその適用状況を概観するとともに、マスバランス方式の消費者とのコミュニケーションをどのように行っていくべきか、LCAにおいてマスバランス方式をどのように取り扱うべきか、マスバランス方式を気候変動対策や温室効果ガスインベントリにおいてどう位置づけるか等の課題について議論する。

2. 登壇者と話題提供内容

植田洋行・MURC「プラスチックに対するマスバランス方式の適用状況（仮）」

橋本征二・立命館大学「マスバランス方式に関する消費者とのコミュニケーション（仮）」

菊池康紀・東京大学「炭素源別フローに着目したマスバランス方式の課題と展望（仮）」

平井康宏・京都大学「マスバランス方式と気候変動対策・温室効果ガスインベントリ（仮）」

※本セッションは、環境省・(独)環境再生保全機構の環境研究総合推進費(JPMEERF20243004)より支援を受けている。